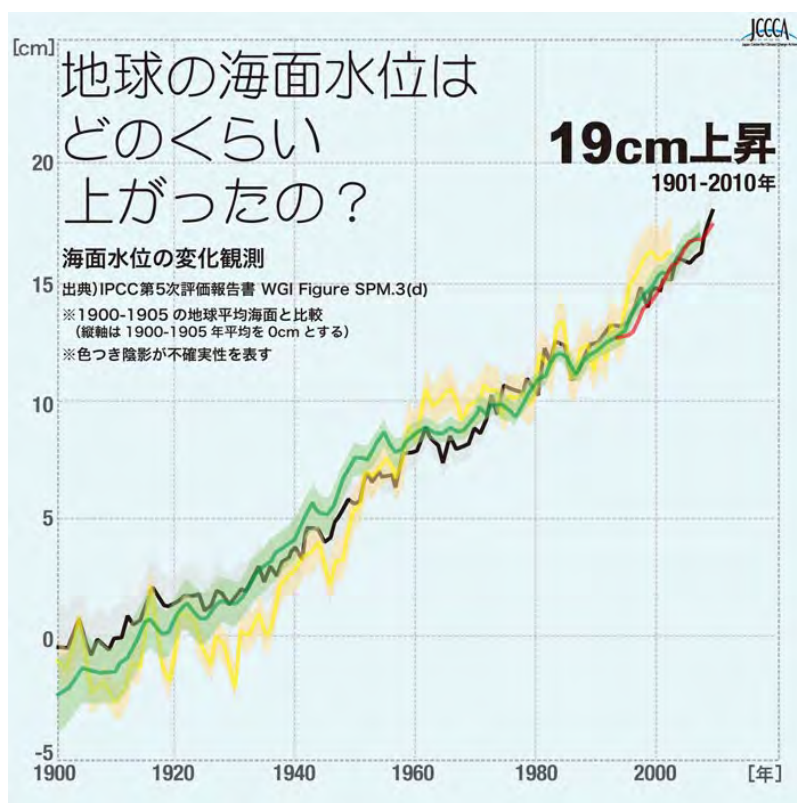


2024 年度版

# エコアクション21 環境経営レポート



全国地球温暖化防止活動推進センター ウェブサイトより

一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット



対象期間：2024年4月1日～2025年3月31日

発行日：2025年6月30日



環境活動レポート 目次

1. 組織の概要および対象範囲 .....	1
2. 環境経営方針 .....	3
3. 環境経営目標・目標の実績 .....	4
4. 環境活動計画・取組結果と評価、次年度の取組目標 .....	9
5. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟の有無 .....	16
6. 代表者による全体評価の見直しの結果 .....	17

## 1. 組織の概要および対象範囲



組織の名称 一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット  
代表者 理事長 高田 研  
(代表者事務執行者：事務局長 平田 裕之)  
所在地 東京都千代田区九段南 3-9-12 九段ニッカナビル 7 階 (2020 年 10 月移転)  
設 立 2010 年 (平成 22 年) 8 月

### 事業概要

地球温暖化防止全国ネットは、地域において地球温暖化防止活動を実施する団体に対し、その活動をより効果的なものとするための技術的支援等を実施することにより、地球温暖化対策の推進を図ることを目的としています。全国 47 都道府県と 12 の市にある全 59 地域の地球温暖化防止活動推進センターのネットワークの中核となり、また自治組織としての全国センターの運営を担いつつ、センターの存在と意義を社会に向けて発信しています。

### 事業規模 (2025 年 3 月 31 日現在)

職員数 11 名

会員数

正会員	56 団体	
賛助会員	団体会員 22 団体	個人会員 8 名

### 環境管理責任者および担当者連絡先

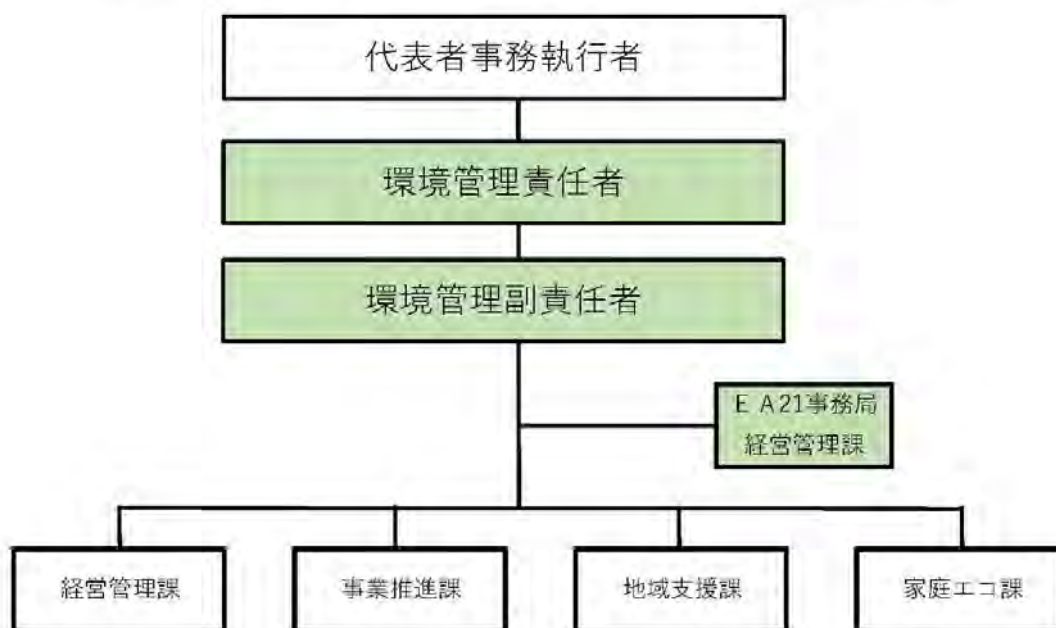
責任者 事務局長 平田 裕之  
副責任者 管理部 佐藤 佑樹  
担当者 経営管理課 西 亜希子、岩本 彩夏

### 事業内容

- ・全国地球温暖化防止活動推進センター事業
- ・地域における地球温暖化防止活動促進事業
- ・家庭エコ診断制度の運営、うちエコ診断士資格試験の運営
- ・脱炭素チャレンジカップの運営
- ・環境マークプログラムの作成、販売
- など

### 対象範囲

- ・当法人の全組織・全活動を対象範囲としています。



	役割・責任・権限
代表者事務執行者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の策定・見直し及び全職員へ周知</li> <li>環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人材を用意</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>代表者による全体の評価の見直しを実施</li> <li>経営における課題とチャンスの明確化</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムを構築・運営する（代表者からE A 21の権限を委任）</li> <li>実施体制の構築（組織図及び役割・責任・権限）</li> <li>教育・訓練の実施を指示</li> <li>環境活動の取り組み結果を代表者へ報告</li> </ul>
環境管理副責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境目標・環境活動実施計画書/実績表の作成</li> <li>環境活動レポートの確認</li> <li>環境管理責任者の役割・責任・権限の補佐</li> </ul>
E A 21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>E A 21の推進（環境責任者の指示を受けて）</li> <li>環境活動レポートの作成</li> <li>環境関連法規則等のとりまとめ表作成と遵守評価実施</li> <li>環境関連文書・記録の管理</li> <li>環境への負荷及び取組チェック実施</li> </ul>
各課	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部環境情報の窓口（経営管理課）</li> <li>環境目標及び環境活動計画の実施・確認・評価、達成状況の報告</li> <li>環境活動におけるチェックリストの記録・運用管理</li> <li>実施上の問題点の是正・予防処置実施</li> </ul>
全職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>E A 21で決められた各自の役割を実施</li> </ul>

## 2. 環境経営方針

←

### ＜基本理念＞←

一般社団法人 地球温暖化防止全国ネットは、地域において地球温暖化防止活動を行う団体に対し、その活動をより効果的なものとするための技術的支援等を実施することによって、地球温暖化防止対策の推進を図ることを目的に平成 22 年 8 月に設立されました。←

同年 10 月より、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、環境大臣から「全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）」の運営団体として指定され、各都道府県市に設置されている地域の地球温暖化防止活動推進センターとともに、地域からの温暖化対策、脱炭素づくりの最前線の担い手として各種事業に取り込みます。←

←

←

### ＜行動指針＞←

1. 具体的に次のことに取り組みます。←

- ① 電力の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減←
- ② 使用原材料の省資源、廃棄物の 3R（減量使用、再生利用）の推進←
- ③ 水資源の節水←
- ④ 事務用品のグリーン購入←
- ⑤ 脱炭素チャレンジカップを始めとする脱炭素社会づくりのための各種事業の推進←

←

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。←

←

2. 環境関連法規則や当法人が約束したことを遵守します。←

3. すべての職員に環境方針を周知徹底します。←

4. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてまとめて公表します。←

←

←

2015 年 7 月 1 日←

一般社団法人地球温暖化防止全国ネット←

理事長 高田 研←

### 3. 環境経営目標・目標の実績

#### ◆ 中期目標一覧表

##### ① 二酸化炭素排出量削減（電力の削減）

これまでの基準は、2020年10月～2021年9月の新型コロナウイルスの影響下における実績に基づいていた。しかし現在は、感染状況の収束に伴い、テレワーク中心の勤務形態から、原則出社へと移行したことで電力使用量が増加している。このため、今後は増加後の実態を反映した、2023年度の電気使用量 20,913 kWh（CO2 排出量 kg-CO2）を基準とし、基準値に対して 100%を目標とする。

※電力の CO2 排出係数は、東京電力パワーグリッド(株)の調整後排出係数 0.438kg-CO2/kWh（2022 年度実績）を使用

	基準年	目標				
	2023 年度 (実績)	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
二酸化炭素排出量削減 (電力の削減)	20,913kWh ※9,159 kg-CO2	100%目標 20,913kWh 9,159kg-CO2	100%目標 20,913kWh 9,159kg-CO2	100%目標 20,913kWh 9,159kg-CO2	100%目標 20,913kWh 9,159kg-CO2	100%目標 20,913kWh 9,159kg-CO2

##### ② 廃棄物排出量削減（一般廃棄物の削減）

事務所移転に伴い、資源ごみの詳細な廃棄量の把握ができなくなったため、2021 年度の実績を基準とし、増量しないよう 100%を目標とする。ただし、資源ごみを除く可燃、不燃ごみについてはビル管理会社収集のため、数値の把握はできない。

また、コピー用紙購入量削減については、会議等はほとんどの資料をデジタル化し、コピー用紙を使用しないよう努めてきたが、国の事業が多くを占めており、経費等の書類の紙での保管を求められる事から大幅の削減をする事が難しい為、2023 年度を基準とし、2024 年から 5 年間で 90%に削減する。

廃棄物排出量削減	基準年	目標				
	2021 年度 (実績)	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
資源ごみ(コピー用紙、雑誌、その他)	200 kg ※20 kg/1 箱	100%目標 (200kg)	100%目標 (200kg)	100%目標 (200kg)	100%目標 (200kg)	100%目標 (200kg)
コピー用紙購入量の削減	基準年	目標				
	2023 年度 (実績)	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
	11 箱 2500 枚/箱	98%目標 10.7 箱	96%目標 10.5 箱	94%目標 10.3 箱	92%目標 10.1 箱	90%目標 9.9 箱

③ 排水量削減（水道水の削減）

水道水はビル全体の使用量をテナント数で割っている為、当法人のみの水道水使用測定は不可能である。そのため、節水活動を行う事を目標とする。

排水量削減 (水道水削減)	基準年	目標				
	2021年度 (実績)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	節水活動	節水活動	節水活動	節水活動	節水活動	節水活動

④ 事務用品のグリーン購入

グリーン購入を継続はするが目標については数値を定めないものとする。

⑤ 脱炭素社会事業推進

2019年度実績を基準に実施回数を1年に1回ずつ増やす。※

環境に関する展示会については、当団体が出展するだけでなく、地域センターよりよい出展を出来るような研修や支援を行う。

脱炭素社会 事業推進	基準年	目標				
	2019年度 (実績)	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	講師・講演、 セミナー等 合計 32 回	35 回	36 回	37 回	38 回	39 回
脱炭素チャレン ジカップの実施	実施する	実施する	実施する	実施する	実施する	

※⑤の目標については 2022 年度より実行中

【2024 年度目標と実績】

	基準	2024 年度目標	2024 年度実績	評価
二酸化炭素排出量削減 (電力の削減) ※電力の CO2 排出係数は、東京電力パワーグリッド(株)の調整後排出係数 0.438kg-CO2/kWh (2023 年度実績) を使用	20,913 kWh ※9,159 kg-CO2	20,913 kWh ※9,159 kg-CO2	21,514kWh ※9,423 kg-CO2	目標達成率 <u>97.2%</u>
廃棄物排出量削減 資源ごみ (コピー用紙、雑誌、その他)	2020 年 10 月- 2021 年 9 月 200 kg	目標 200 kg	実績 160 kg	目標達成率 125%
コピー用紙購入量の削減	2023 年度 11 箱 1 箱 : 2500 枚入	10.7 箱 基準年度比 : 98%	9 箱	目標達成率 118.8%
水道水の削減	節水活動	節水活動	節水活動を行う	節水活動を 継続して行った
事務用品の グリーン購入	目標は設定せず	グリーン購入を継続	グリーン購入を継続	グリーン購入を継続
脱炭素化社会事業推進 ・自社及び外部への講師、講演・セミナー実績 ・脱炭素チャレンジカップの実施	2019 年度 講師・講演、セミナー 合計 32 回	講師・講演、セミナー 合計 35 回	講師・講演、セミナー 合計 : 39 回	目標達成率 111.4%
	脱炭素チャレンジ カップの実施	/	実施した	/

## 【目標に対する結果の考察・分析】

### 1. 二酸化炭素排出量（電気使用量）

休憩時間中の執務室の照明 off など、こまめなスイッチ on/off を実行し、サーキュレーターの使用や設定温度の徹底、クールビズ・ウォームビズの推進を通し、電気使用量の削減に取組みました。

しかし、今年度はイレギュラーな対応が増えてしまったことで、残業の増加、休日出勤等により1月～3月の電気使用量が増加してしまいました。

職員の体調管理も大切であり、1人しか残っていない状況でもエアコンを止めるわけにはいかず、使用時間が増加したことが主な原因だと思います。

そのような状況の中でも、上記の行動を職員全員が徹底し、増加は最小限に抑えることが出来たと思います。

出来る限り就業時間内で業務を終わらせ、エアコンの使用時間を減らす為にも、職員の定着率を上げることは省エネにもつながると感じました。

### 2. 廃棄物排出量

可燃ごみ、プラスチック等の不燃ごみは、テナントのビル会社が一括で処理しており、当事務所のみを個別に計量することは不可能な為、引き続き職員全体で分別の徹底やごみの減量に努めています。

今年はオンラインと現地でのハイブリット会議が増えましたが、開催する際に、資料はパソコンやタブレット等のデータで見ると呼びかけたり、プロジェクターに投影したりと、資料は出来る限り印刷しないよう心掛けました。その結果、コピー用紙の購入、廃棄物ともに目標以上の削減をすることが出来ました。今後もさらに印刷する枚数を減らすよう努めていきます。

### 3. 水道使用量

事務所のビルにおいては、水道使用量の把握は困難なため、数値目標を定めておりません。しかし、油分の多いものを洗うときには先に新聞紙で拭き取ってから洗うようにするなど、引き続き目標達成手段に従って節水の努力をしていきます。

### 4. グリーン購入

数値目標は定めておりませんが、引き続き消耗品等の購入の際は積極的にグリーン購入を行っていきます。

### 5. 脱炭素化社会事業推進

本年度も、「脱炭素チャレンジカップ2025」の開催時に「カーボン・オフセット証書」を取得しました。この取り組みは引き続き行っていきます。

また、自社及び外部への講師、講演・セミナー実績は、目標を達成することができました。



#### 4. 環境活動計画・取組結果と評価、次年度の取組目標

環境経営目標	環境経営活動計画（取組内容）
電力の削減	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 空調の適温化（推奨室温：冷房 28℃、暖房：20℃）</li> <li>2. 使っていない部屋やエリアの照明は消灯する</li> <li>3. 電化製品は使うときだけ O A タップの電源を入れ、それ以外はタップの電源を切る</li> <li>4. 冷蔵庫の使用や設定の見直し</li> <li>5. トイレの暖房便座は、夏季は O F F にし、冬季は温度設定を低めにして、使用時以外はふたを閉める</li> <li>6. O A 機器は省エネ設定にする、コピー機の省エネモード利用促進</li> <li>7. パソコンは会議などで一定時間使用しないときには「スタンバイ」モードにするか電源を切るなどし、退社時にはパソコンだけでなく、モニターも O F F にする</li> <li>8. 最後に退社する職員はエアコン、証明等の消し忘れを確認する</li> <li>9. クールビズ、ウォームビズの徹底</li> </ol>
一般廃棄物の削減	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 使用済用紙の裏紙利用の徹底</li> <li>2. コピー用紙の使用量の削減</li> <li>3. 不要な紙類の古紙リサイクル化</li> <li>4. ごみの分別化の見直し（分別ステッカーを貼る）</li> <li>5. ごみの軽量化、なるべくごみを出さない</li> </ol>
水道水使用料の削減	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 水の流しっぱなし禁止</li> <li>2. 水を勢いよく出さない、適量につとめる</li> <li>3. 油分の多い洗い物は新聞紙などで拭き取ってから洗う</li> <li>4. 水栓付近に節水ステッカーを貼る</li> </ol>
グリーン購入	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. グリーン商品の購入</li> </ol>
脱炭素化社会事業推進	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脱炭素チャレンジカップの開催</li> <li>2. 職員の講師派遣</li> </ol>

### 【電力の削減】

活動計画として策定した取組内容は全て実施しています。お昼の電話当番を利用し、当番の者が室温・照明管理チェックをすることで職員全体への意識付けに繋がり、現在ではほとんどの職員が『当たり前』の行動になっているように感じます。

全職員が積極的にエコな行動を取れるよう引き続き注意喚起も行い、より意識付けを深めていきます。



### 【一般廃棄物の削減】

前述したように、計量できない現状なので意識レベルでの目標となりますが、ごみの分別ステッカーの掲示により、区のルールに則って分別します。今後も会議等で資料の共有をする際にはタブレットやパソコン、またプロジェクターへの投影を活用し、参加者へも出来る限り印刷をしないよう周知をするなど、削減に努めて行動したいと思います。



### 【水道水使用量の削減】

一般廃棄物と同様、当事務所だけでの使用量を把握できない現状ですが、引き続き節水に努めます。

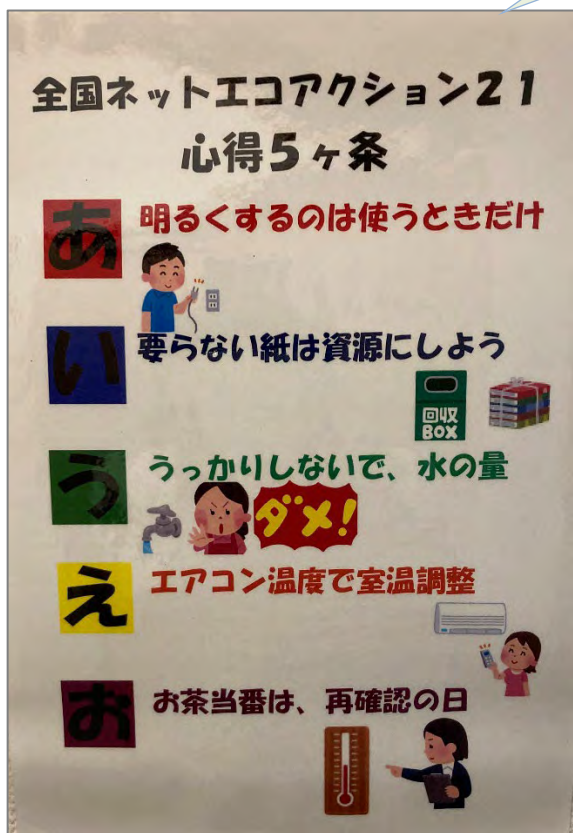
### 【グリーン購入】

グリーン購入に関しては昨年同様、購入申請があった際に、グリーンマークの有無、無い場合はマークのついている代替商品を発注担当者が確認し、同じ商品でもグリーン購入マークのついているものを選んで注文するようにするなどの取組を継続しています。



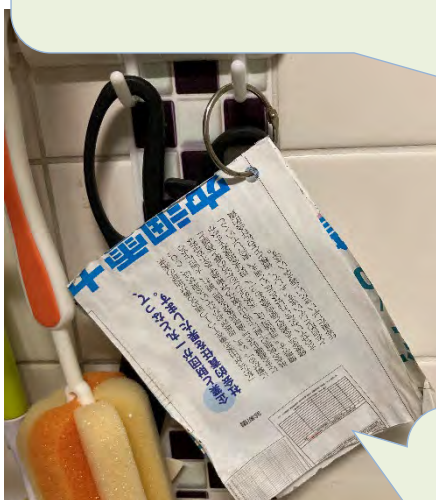
<事務所内の取組みの様子>

全国ネットエコアクション21  
心得5ヶ条をいたる箇所に貼付け、行動変容を促しています。



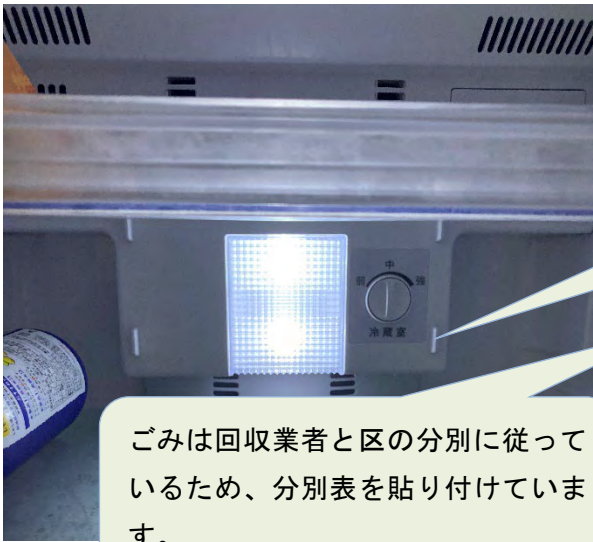
オフィスに温度計を各部屋3ヶ所設置。  
毎日お茶当番が14時に室温のチェックを  
することで、意識づけを行っています。

COOL CHOICE 賛同証明書を張り出し、温暖  
化防止に繋がるエコな行動を促していま  
す。



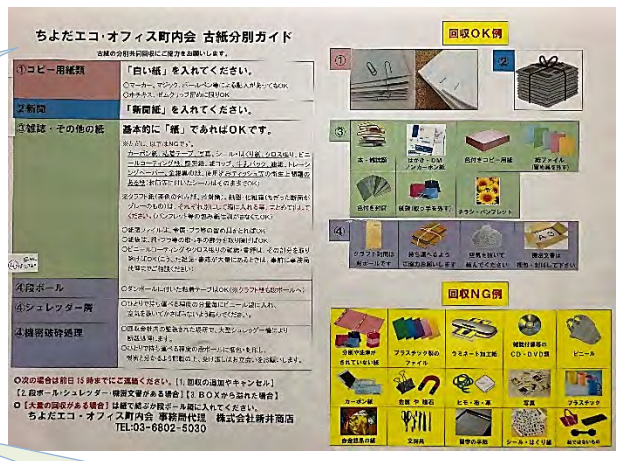
油分の多い食器は新聞紙で拭  
き取ってから洗剤を使うように  
し、節水に努めています。





冷蔵庫は温度設定を見直し、中身の整理を行い、これにあわせて、冷風口の前をふさがないなど使用についても見直します。

ごみは回収業者と区の分別に従っているため、分別表を貼り付けています。



電気便座のフタ閉めを習慣づけるようにしています。



地球温暖化防止全国ネットは環境省の新国民運動『デコ活』に早くから賛同。ホームページにおいても全国ネットの提言や取組みが紹介されています。全国センターとしては、デコ活ジャパンとしての役割を担っています。



**CarbonOffset**  
Certificates  
カーボン・オフセット証書

脱炭素チャレンジカップ実行委員会 様

貴殿の委託に基づき、カーボン・オフセットの  
手続きが完了したことを下記に証明します。

オフセット対象:	脱炭素チャレンジカップ2025の運営に際する 電力使用に伴い発生するCO2排出量
クレジット数量:	2 t-CO2
クレジット種別:	省エネルギー由来
オフセット方法:	トフレジット登録簿にて換算手続きを実施
オフセット完了日:	2025年2月4日
証明書番号:	12502040005

 ITOKI  
株式会社イトーキ

### 脱炭素チャレンジカップとは？

「脱炭素チャレンジカップ 2025 はオンラインと会場のハイブリットで開催しました。

「脱炭素チャレンジカップ」は、脱炭素を目的とした地球温暖化防止に関する地域活動について、書類審査、プレゼンテーション審査を行い、優れた取組を表彰する全国大会です。

脱炭素に関する情報やノウハウを共有し、さらなる連携や意欲を創出することで、豊かな脱炭素社会を創造する「場」となることを目指しています。

脱炭素チャレンジカップでは開催にあたり、毎年「カーボン・オフセット証書」を取得。環境に配慮しながら運営しています。

## 【事業としての取り組み】

全国ネットは、以下のような事業を行っています。

<全国地球温暖化防止活動推進センター（JCCCA）>

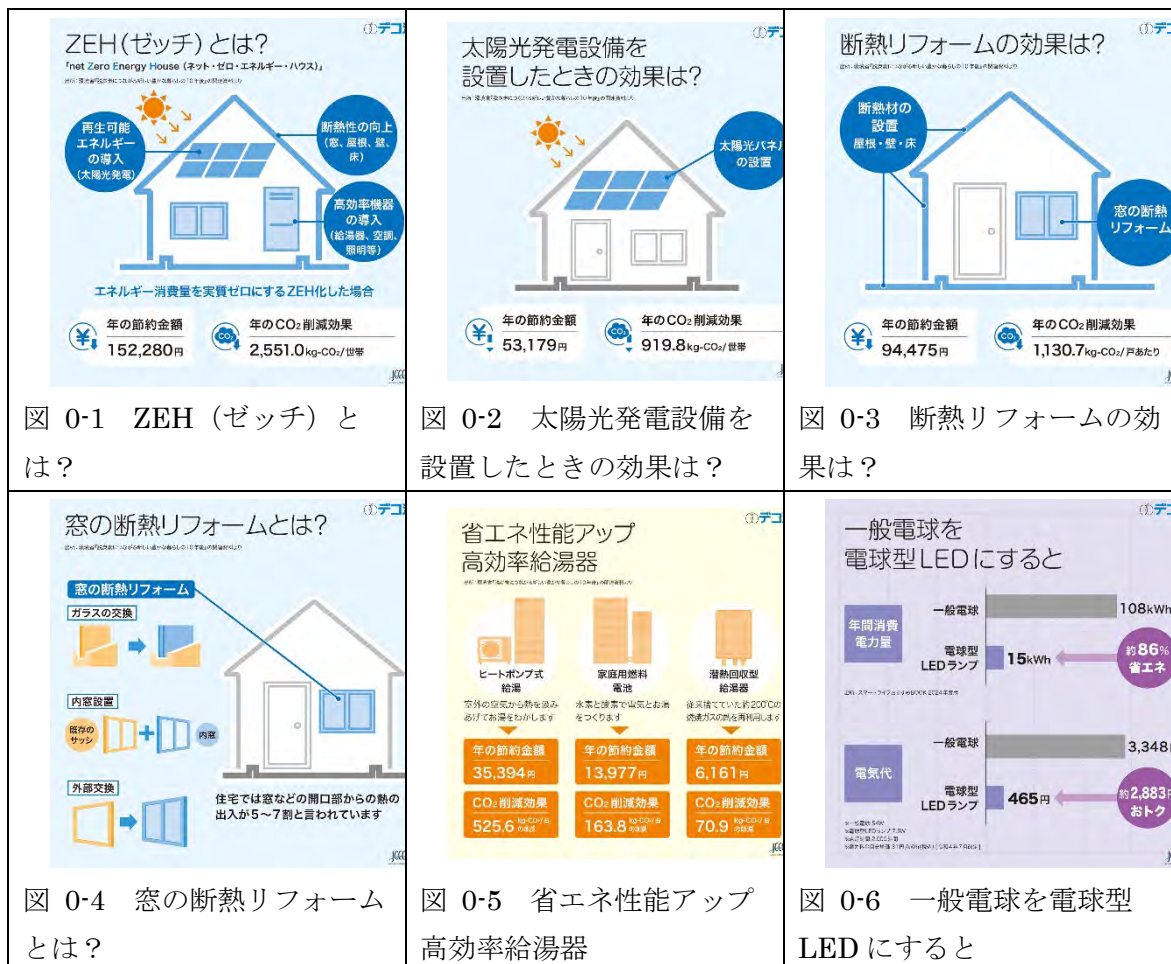
情報発信及び各種コンテンツ等を活用した啓発及び広報等

JCCCAは、環境省の展開する新しい国民運動「デコ活」を推進するため、デコ活ジャパンとして、脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像・絵姿をご紹介しますとともに、国・自治体・企業・団体等で共に、国民・消費者の新しい暮らしを後押しするための活動をしています。

温暖化の現状等を伝えることを目的に、最新の統計情報等を参照し、図化したものを「すぐ使える図表集」として、公式サイトにおいて公開しています。

図表集は気候変動の教育、普及啓発を目的とした二次利用を認めており、地方自治体等による各種計画やパンフレット、教材、資料等に活用されています。

<2024年度新規作成した図表例>

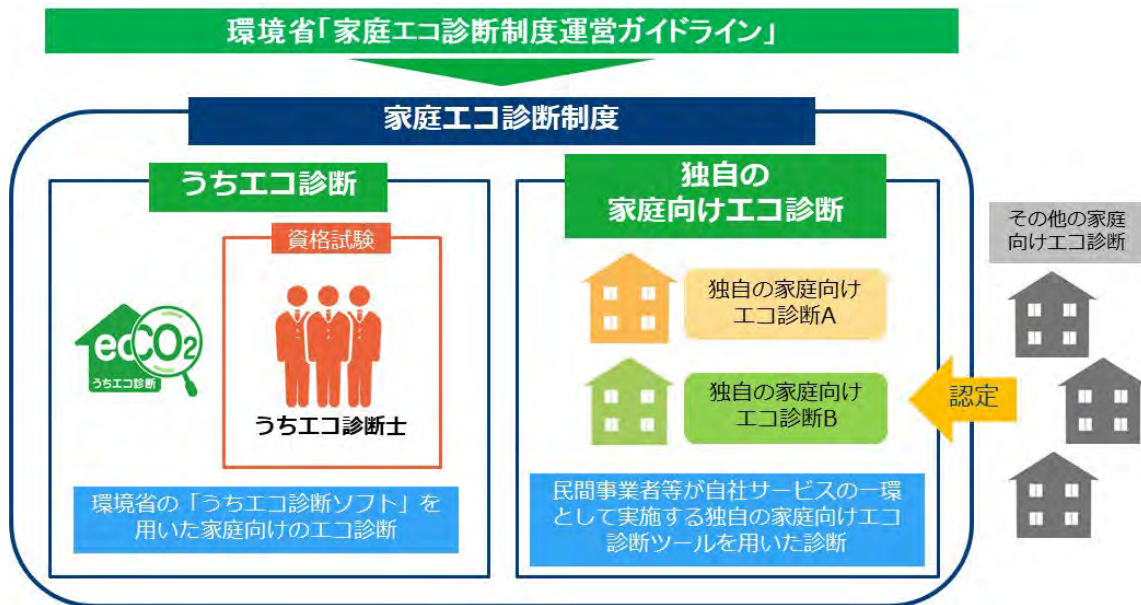




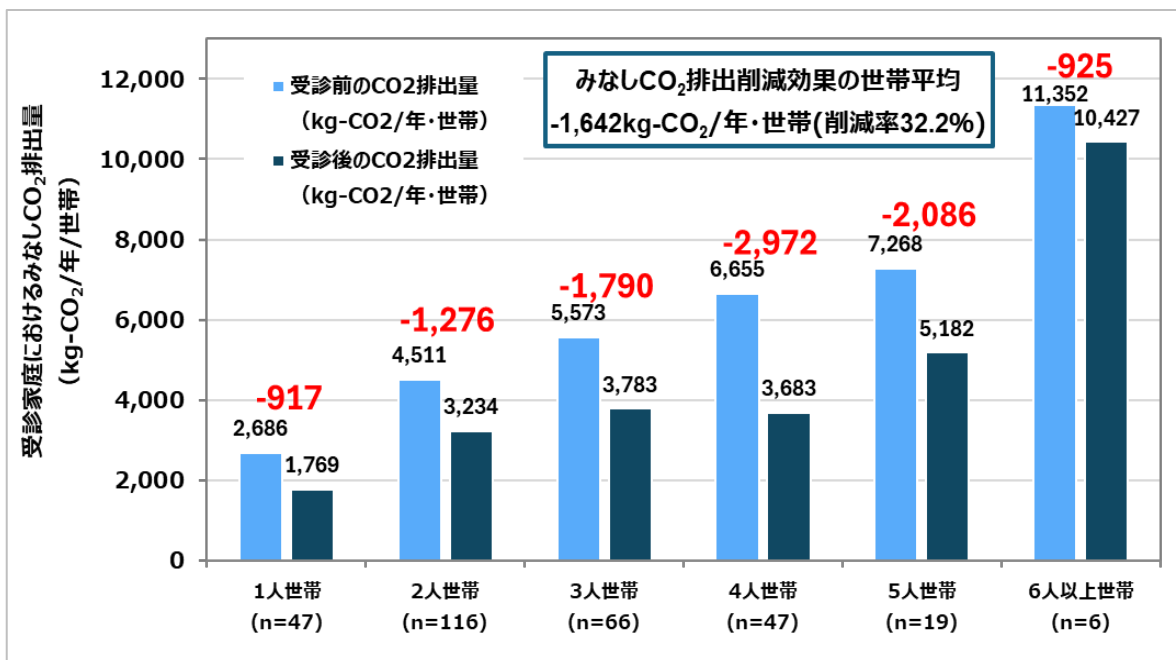
<家庭エコ診断事業>



一般家庭における脱炭素ライフスタイルの転換を促進するために、民間企業や地域主体等のネットワークを活用し、家庭における着実な省エネを実行すべく家庭エコ診断事業の制度運営を継続し、一般家庭からのCO<sub>2</sub>削減を実現することを目的に実施しています。



2024 年度事業における診断前後の受診家庭におけるみなしCO<sub>2</sub> 排出



## 5. 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟の有無

事務所に適用される主な環境関連法規は以下のとおりで、2025年3月31日遵守評価の結果、これらへの違反はありませんでした。なお、関係当局より違反等の指摘は、過去5年間ありませんでした。

	適用環境関連法規等	適用される事項 (事業活動、施設、物質等)	遵守状況の確認・評価
事業活動	地球温暖化対策の推進に関する法律 (H10.10.9 制定)	センター業務	環境大臣よりセンター指定
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (S45.12.25 制定)	古紙・機密文書	<ul style="list-style-type: none"> <li>古紙専門業者に廃棄を委託</li> <li>機密文書は専門業者に不定期で溶解・廃棄を委託</li> </ul>
リサイクル	特定家庭用機器再商品化法 (H10.6.5 制定)	テレビ、冷蔵庫	・廃棄時にリサイクル券を交付する
	使用済小型電子機器等の再資源化の促進に関する法律 (H24.8.10 制定)	電子レンジ2台 電気ポット2台 コーヒーメーカー1台	・廃棄時に条例等を調べ対応する
グリーン購入	国等による環境物品等の調達に関する法律 (H12.5.31 制定)	事務用品等の購入	・エコマーク等使用

## 6. 代表者による全体評価の見直しの結果

今年度はイレギュラーな業務が多く発生したため、残業や休日出勤が増加し、電力の削減については、使用時間が大幅に増加し、目標を達成することが出来ませんでした。

しかし、そのような状況の中でも職員1人1人の省エネを意識した行動により、増加は最低限に抑えることが出来たように思います。

2025年度は、計画通り進めることが出来るよう、人員の増加、定着など体制を強化し、電力の削減につながるよう、努力していききたいと思います。

その他の目標については、達成することができました。裏紙使用の徹底、資料のデジタル化により、不必要な印刷がなくなったと思います。また、会議の開催案内等をデジタル化し、今まで書面で行ってた手続きも、メールやWEB上で行うことが出来るようになったことで印刷物を大きく減らすことが出来ました。国の事業をメインとしており、経費資料等紙での保管が必要なものもあるため、大幅な削減は難しいですが、今後も少しずつ減らすことが出来るよう、努力していききたいと思います。

脱炭素社会推進については、当法人の主な事業である「全国地球温暖化防止活動推進センター」の事業等において、引き続き環境に配慮した活動に努めながら、さらなる取り組みを行ってまいります。また、社会のカーボンニュートラルへの関心が高まっているため、講演会、研修等への講師としての職員派遣も増やし、国民への普及啓発を積極的に行ってまいります。

以上

